

回 編集後記 回回回回

連立政権の初代総理の立ち上がりは新鮮に映った。かつての与党が野党になり、種々の懸案について攻防が繰り返された。そして、国民生活に重要な予算決定を宙吊りにしたまま、金銭絡みの物語は、総理の辞任で幕が閉じた。政治が世直しなら、その党派もよからう。だが、党派間の権力闘争に終始するものなら、国民生活の障害になる。それを予防するのはいったい誰か。裏切られっぱなしに諦めることはない、さあ目覚めよう。

本号の特集は「障害予防」である。理学療法士も障害予防に寄与すべく重要な立場に置かれている。だが、もし上記の如く、われわれが狭義の主義主張に終始すれば、むしろその対象者となろう。

佐藤氏他には、リハビリテーション医学における障害予防の視点について論述いただいた。氏は、障害予防の基本はその発生に関わる三種の因子や二次障害、障害者の健康増進などについて研究が今後の課題になると指摘されている。伊藤氏は、第29回日本理学療法士学会（テーマ：障害予防と理学療法）の学会長として、この課題に正面から取り組む必要性

を感じられた一人である。タイミングよく、本号の特集と一致していたことで、今後の課題について論述いただいたが、氏の理学療法士としての長年の汗が集大成されている。山田（純生）氏には、体力低下予防について主に酸素搬送系の機能低下とその運動療法とについて論述いただいた。山田（道廣）氏には、運動器系（片麻痺患者の筋萎縮に限定）の障害予防について、これまでの報告をレビューしながら論述いただいた。奈良他は、デイケアにおける高齢者の心身機能低下の予防について論述した。

医療自体を健康科学として捉えるならば各氏が述べておられるように、障害予防は今後ますます重要な課題になる。

投稿は「紹介」として西澤氏他の論文と、「報告」として佐々木氏他の論文、また高須治君の「実習レポート」を掲載できた。

次号からの講座として「行動科学」を6回シリーズで掲載する。佐藤氏が述べておられるように、障害発生の予防についても行動学的因子は無視できないことから、ぜひ楽しみにしていただきたい。

（奈良 勲）

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長
上 田 敏
帝京大学リハビリテーション科
五味 重 春
東京都立医療技術短期大学
名誉教授
津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテーションセンター名誉総長
福 屋 靖 子
筑波大学心身障害学系
松 村 秩
東京都立医療技術短期大学
横 山 巖
七沢リハビリテーション病院
脳血管センター名誉院長
（五十音順、以下同じ）

●編集委員●

網 本 和
聖マリアンナ医科大学病院
安 藤 徳 彦
横浜市立大学リハビリテーション科
内 山 靖
北里研究所メディカルセンター病院
大 川 弥 生
帝京大学リハビリテーション科
高 橋 正 明
北海道大学医療技術短期大学
鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院
奈 良 勲
広島大学医学部保健学科
吉 尾 雅 春
札幌医科大学保健医療学科

●編集同人●

伊 藤 日出男
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 田 近 雄
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
菊 地 延 夫
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 藤 子
高 藤 光 子
高 田 京 子
武 富 由 雄
谷 浩 明
寺 山 久美子
長 尾 哲 男
長 澤 春 弘
中 津 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
福 田 恵 美子
藤 沢 しば子
藤 林 英 樹
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 本 省
矢 谷 令 三
山 下 清 次
山 本 隆 昭
米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

（第28巻 第6号）

1994年6月15日発行（毎月1回15日発行）

1部定価 1,494円（本体1,450円）

（配送料92円）

年ぎめ予約購読料 17,040円
（本体16,544円）
（送料弊社負担）

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

（担当：渡邊・富永）

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 ㈱ 電話(03)3637-0005

広告申込所 ㈱医薬広告 電話(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1994, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

R <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。